

Hop Step Jump

2

平成 27 年度（2015 年度）

初任者研修 開講式から

4 月 3 日、豊中市アクア文化ホールで豊能地区小・中学校初任者、新規採用養護教諭、新規採用事務職員研修の開講式を行いました。

小学校に入り、早 2 日が過ぎて、本当にやっていけるのか不安が生まれつつ、という状態だったのですが、先輩の先生方や、今日お話いただいた先生方のお言葉一つ一つがあたたかく、がんばっていききたいという気持ちが強まりました。「自ら積極的に求めていく」という姿勢をもって、今度からの研修にのぞんでいきたいです。

まさに学校では、新年度体制をつくるための準備があり、皆さんにとっても新しい環境に適応するためにめまぐるしくすぎる日々、市町によっては午後からも研修ということで、大変忙しい 1 日だったと思います。

開講式では、事務局長の挨拶にはじまり、服務の話、そして豊能地区の小中学校の先輩の箕面市立西南小学校の久富先生、能勢町立西中学校の平野先生のお二人からアドバイスをいただきました。

先輩の先生の話聞いて、周りの先生方に悩みを言うことの大切さがわかりました。私も人見知りで他の人と距離を置いてしまうところがあるのですが、この距離がなくなるような努力をしていきたいと思いました。そして、あきらめないことの大切さ、失敗してもそれをバネのようにして次へ進めるような先生になりたいと思います。

後半は採用前セミナーⅡでもお世話になった栗栖佳子先生の研修へと続きました。

子どもたちの夢のサポートを担う仕事である教師。ティーチングとコーチングを使い分けて、自分も一緒に成長していきたい。

こんなにも温かい気持ちになれることを実感した。限界の枠を自然につくっていたことも改めて気づかされた。本当にありがとうございました。

傾聴の姿勢や先を見通すことの大切さを改めて感じることができました。他人を認めること以上に自分を認めることは難しいのかもしれませんが。私自身も自分のできる所できない所を個性として認め、学級に生徒にあたっていきたいと思います。

「聞く」「訊く」「聴く」。そして「ティーチング」と「コーチング」。教師にとって、その違いを認識すること、そして自分のコミュニケーションの癖を知っておくことは大切なことです。

不安や期待がたくさんある中、今日やったことでとても気持ちが楽になった。初めての人にこんなことという思いがあったが、聴いてくれるだけでこんなに楽になるんだと思いました。子どもたちにも是非「聴く」ことをして信頼関係の向上につなげたい。

つつい教え込み中心になってしまうところを、今日の研修によって「サポーターとしての教師」という意識を改めて持つことができました。また、ワークショップの中で自分の考えを受けとめてもらったことで、新学期に向けた不安が軽くなりました。子どもたちが悩んでいるときも、今日の経験を活かしていきたいと思います。

「聴」いてもらえることによって、気持ちがこんなに楽になり、しかも前向きになる。「クリアリング」についても実際に体験してもらいました。不安で縮こまっていた人も元気を取り戻していただけたようです。今回の研修では、皆さんが様々なことを吸収しようという準備が整っていたこと。そして栗栖先生のコーチングに対する理論と実践が、相乗効果を生み出した結果だったのではないかと考えます。研修はきっかけです。コーチングやコミュニケーションスキルについて、さらに学んでください。

人の中に備わっているすばらしい力を引き出すことをエンパワメントと言いますが、次はみなさんが子どもたちをエンパワーする番です。良いスタートができました。